

風 か ほ る

校長 石原 健

新人戦を振り返って

9月18、19、20日に新人兼県民総合スポーツ大会所沢市予選が開催されました。ご存じの通り、この大会は3年生が引退し、1、2年生が中心となって活動し始めて最初の公式戦となります。練習の成果が結果となって現れたチームや選手、逆にいつもできていることができずに悔しい思いをしたチームや選手、おかれた状況は様々ですが、生徒たちの勝利に向かって一生懸命になっている姿をたくさん見ることができました。「勝ち」にも「負け」にも必ず理由があります。それが、技術的なものなのか、体力的なものなのか、精神的なものなのか、それ以外のものなのか…選手の皆さんは「勝ち=嬉しい」や「負け=悔しい」だけで終わりにせず、しっかりとこの大会の振り返りをしてください。それが次への一歩につながります。



次の公式戦は来年の6月です。今から半年以上の時間があります。皆さんには、まだまだ伸びしろはいっぱいあります。目標を掲げ、その目標を忘れずにこれからの練習に励んでももらいたと思います。



保護者の方々には、会場に足を運び、生徒たちを応援していただきありがとうございました。生徒たちの普段家では見せない表情をたくさん目にしたことと思います。生徒たちが活躍できるのも各ご家庭のご協力あつてのことと思い、大変感謝しております。引き続き、応援とご協力をお願いいたします。

学校朝会 ～校長講話より～

「責任ある立場」とよく言いますが、責任というものは部長や副部長だけが持っているものなのでしょうか。勿論、部長や副部長など、中心者には責任感が必要ですが、その人たちだけが持っていれば良いというものでもありません。責任の重さ（大きさ）の大小はありますが、部（チーム）に所属している者は、各々が責任を持って行動をしているはずで、選手それぞれが与えられた責任を果たすプレーをすることで、チームは勝利に近づきます。逆に無責任なプレーが積み重なることは、チームの敗北につながります。今のことを行事に置き換えてみると、クラスとして、学年として、実行委員（会）として、それぞれが与えられた責任を果たすことによって、行事の成功につながります。これから始まる合唱コンの取り組みも同じです。他人任せにせず、自分の周りの人のために何ができるのかを考えて行動してください。

話を戻し今回の新人戦を振り返ってみましょう。今回試合中に「自分のところにボールが来い！」と思った人、それは自分に与えられた責任を果たそうと頑張っていた人です。反対に「自分のところにはボールが来ないでくれ…」と思った人、それは自分に与えられている責任の大きさに押しつぶされ逃げようとしていた人です。後者の人たち、ちょっと考えてみて下さい。コート、グラウンドに中にいるのは自分一人でしたか？そこにはチームの仲間はいませんでしたか？試合の局面では1対1でプレーしていますが、試合は一人で行っている訳ではありません。皆さんのそばには、「勝利」という同じ目標に向かってプレーをしている仲間がいたはずです。ベンチにはチームの勝利を願って応援している仲間がいたはずです。冷静になり周りを見渡すことで、もっともっと自分の力を発揮できるものです。追い込まれた時ほど、仲間の存在を忘れないでください。

人間わかくさ高等特別支援学校出前授業

9月26日（金）、人間わかくさ高等特別支援学校の生徒4名が来校し、本校7組の生徒を対象に作業学習及び進路学習会を行いました。作業学習ではポリッシャーという床磨きの機械を使っ



南陵中生の活躍 敬称略

新人兼県民総合スポーツ大会所沢市予選
＜チーム、団体＞

3位 野球部、ソフトボール部、女子バレーボール部
柔道部（男子、女子団体）

＜個人＞

柔道男子 1位 2位 3位

柔道女子 2位 県大会出場 3位

陸上競技 1年男子100m 1位 県大会出場 1年女子100m 3位 県大会出場

4×100mR 1位 県大会出場

県大会出場 女子100m 女子800m 女子200m

テニス 入間地区大会男子シングルス 3位 県大会出場

新人兼県民総合スポーツ大会県大会 水泳女子400m自由形 1位



青少年読書感想文全国コンクール所沢市予選会

優良賞 3年生 1年生

所沢市小中学校科学教育振興展覧会

出展 3年生 2年生 1年生

お詫びとお知らせ

9月号でお知らせした「学校総合体育大会県大会陸上男子800m（さん）」の結果が7位となっていました。3位が正しい結果となります。大変申し訳ありませんでした。

本日、所沢市教育委員会より「所沢市立学校における盗撮防止等ガイドライン」がtetoruにて送信されました。同様のものを本校ホームページにも掲載してありますので、ご承知おきください。